

新人男子第75回 西播高等学校駅伝競走大会要項

- 1 主 催 兵庫県高等学校体育連盟西播支部
- 2 主 管 兵庫県高等学校体育連盟西播支部陸上競技部
- 3 後 援 神戸新聞社 姫路市教育委員会
- 4 期 日 令和5年2月19日(日) 10時00分スタート
- 5 コース 網干なぎさ公園—人工島—日本触媒周回コース
- 6 距 離 7区間 42.195km
第1区 10.000km なぎさ公園⇄人工島⇄臨海大橋西側
第2区 3.000km なぎさ公園⇄日触前
第3区 8.000km なぎさ公園⇄人工島⇄日触西詰⇄網干高G北東
第4区 8.195km なぎさ公園⇄人工島⇄海浜大橋北⇄人工島(復路三差路右折)
第5区 3.000km なぎさ公園⇄人工島⇄エコパーク前(復路三差路右折)
第6区 5.000km なぎさ公園⇄人工島(復路三差路右折)⇄網干高G北東
第7区 5.000km なぎさ公園⇄人工島(復路三差路右折)⇄網干高G北東
- 7 競技規定 (1) 競走は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走基準および大会規定による。
※競技規則TR5.13.3に適合しないシューズの使用は認めない。
(2) チーム編成は監督1名・選手10名とし、申込後の選手変更は認めない。また、7名に満たない選手数の申込チームはオープン参加とし、区間成績は認める。
(3) オーダー提出後の選手変更は、補欠をその区間に補充し、選手変更届を大会総務に提出すること。
(4) 大会本部が認めれば複数校合同でチーム編成し、オープン参加として出場することができる。チーム編成、申込方法、申込料等は記載のとおりとする。使用するチームナンバーおよびチーム名は申込時に大会本部が割り当てる。アスリートビブスは大会本部が作成する。
- 8 参加資格 (1) 出場者は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、兵庫県高等学校体育連盟加盟校に在学する男子生徒であって、日本陸上競技連盟の登録競技者であること。
(2) 3年生を除く1・2年生で編成し、同一学年での出場は1回限りとする。
(3) 全日制課程・定時制課程・通信制課程・分校との生徒の混成は認めない。
- 9 参加制限 外国人留学生の参加は2名以内とし、出場については第1区を除く1名以内とする。
- 10 申込方法 (1) 西播支部配信のファイルにより作成した参加申込書・推薦審判員名簿(様式1)に学校長承認印、記載責任者印を押印し、下記へ送付すること。
送付先 〒672-8064 姫路市飾磨区細江319 県立飾磨工業高等学校 水田雅幸 宛
(2) 入力完了したデータファイルを下記へメール送信すること。
送信先 seiban_riku@yahoo.co.jp
(3) 申込書・申込ファイルは下記ホームページよりダウンロードできる。
http://seibanrikujou.g1.xrea.com/
(4) 学校長承認印、顧問印のないものは受理しない。
(5) 申込期日 令和5年1月31日(火)
(6) 申込料6000円 プログラム代2000円(申込者全員購入)大会当日納入すること。
- 11 オーダー提出 2月19日(日)8時00分までに学校受付まで提出すること。
- 12 表彰 (1) 優勝校に西播支部優勝旗・神戸新聞社盾を授与し表彰する。
(2) 準優勝校に神戸新聞社準優勝トロフィーを授与し表彰する。
(3) 総合成績第8位・区間成績第3位までに西播支部賞状を授与し表彰する。
(4) 区間成績第1位に神戸新聞社メダルを授与し表彰する。
(5) オープン優勝校に神戸新聞社盾を授与し表彰する。
(6) オープンは総合成績・区間成績第3位までに西播支部賞状を授与し表彰する。
(7) オープン区間成績第1位に神戸新聞社メダルを授与し表彰する。
- 13 その他 (1) 番号は、兵庫県高等学校体育連盟陸上競技部制定の学校番号を使用すること。同一校で2チーム以上参加の場合は、連絡事項を参照のこと。
(2) 申込みと同時に2名以上の役員を推薦する。役員として協力のない学校は、高体連の申し合わせにより出場できない。
(3) 西播地区以外の学校は、オープン参加とする。
(4) 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、大会を中止する場合もある。
(5) 大会開催にあたっての新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる注意事項等については、高体連西播支部陸上競技部HPに掲載するので必ず確認すること。
(6) 個人情報の取扱について
(ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。
(イ) 参加申込書の提出により上記(ア)の取扱に承諾を得たものと見なし、名前・学校名・学年・記録を紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。また、入賞者はインタビューやその他競技場外で取材を受けることがある。
(ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページなどで公開されることがある。
(エ) 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放映されることがある。

新人女子第37回 西播高等学校駅伝競走大会要項

- 1 主 催 兵庫県高等学校体育連盟西播支部
- 2 主 管 兵庫県高等学校体育連盟西播支部陸上競技部
- 3 後 援 神戸新聞社 姫路市教育委員会
- 4 期 日 令和5年2月19日(日) 10時15分スタート
- 5 コース 網干なぎさ公園—人工島—日本触媒周回コース
- 6 距 離 21.0975km
第1区 6.000km なぎさ公園⇄人工島⇄臨海大橋上
第2区 4.0975km なぎさ公園⇄海浜大橋南⇄日触西詰
第3区 3.000km なぎさ公園⇄日触前
第4区 3.000km なぎさ公園⇄日触前
第5区 5.000km なぎさ公園⇄人工島(復路三差路右折)⇄網干高G北東
- 7 競技規定 (1) 競走は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則・駅伝競走基準および大会規定による。
※競技規則TR5.13.3に適合しないシューズの使用は認めない。
(2) チーム編成は監督1名・選手8名とし、申込後の選手変更は認めない。また、5名に満たない選手数の申込チームはオープン参加として取り扱う。
(3) オーダー提出後の選手変更は、補欠をその区間に補充し、選手変更届を大会総務に提出すること。
(4) 大会本部が認めれば複数校合同でチーム編成し、オープン参加として出場することができる。チーム編成、申込方法、申込料等は記載のとおりとする。使用するチームナンバーおよびチーム名は申込時に大会本部が割り当てる。ナンバーカードは大会本部が作成する。
- 8 参加資格 (1) 出場者は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、兵庫県高等学校体育連盟加盟校に在学する女子生徒であって、日本陸上競技連盟の登録競技者であること。
(2) 3年生を除く1・2年生で編成し、同一学年での出場は1回限りとする。
(3) 全日制課程・定時制課程・通信制課程・分校との生徒の混成は認めない。
- 9 参加制限 外国人留学生の参加は2名以内とし、出場については第1区を除く1名以内とする。
- 10 申込方法 (1) 西播支部配信のファイルにより作成した参加申込書・推薦審判員名簿(様式1)に学校長承認印、記載責任者印を押印し、下記へ送付すること。
送付先 〒672-8064 姫路市飾磨区細江319 県立飾磨工業高等学校 水田雅幸 宛
(2) 入力完了したデータファイルを下記へメール送信すること。
送信先 seiban_riku@yahoo.co.jp
(3) 申込書・申込ファイルは下記ホームページよりダウンロードできる。
<http://seibanrikujou.g1.xrea.com/>
(4) 学校長承認印、顧問印のないものは受理しない。
(5) 申込期日 令和5年1月31日(火)
(6) 申込料5000円 プログラム代2000円(申込者全員購入)大会当日納入すること。
- 11 オーダー提出 2月19日(日)8時00分までに学校受付まで提出すること。
- 12 表彰 (1) 優勝校に西播支部優勝旗・神戸新聞社盾を授与し表彰する。
(2) 準優勝校に神戸新聞社準優勝トロフィーを授与し表彰する。
(3) 総合成績第8位・区間成績第3位までに西播支部賞状を授与し表彰する。
(4) 区間成績第1位に神戸新聞社メダルを授与し表彰する。
(5) オープン優勝校に神戸新聞社盾を授与し表彰する。
(6) オープンは総合成績・区間成績第3位までに西播支部賞状を授与し表彰する。
(7) オープン区間成績第1位に神戸新聞社メダルを授与し表彰する。
- 13 その他 (1) 番号は、兵庫県高等学校体育連盟陸上競技部制定の学校番号を使用すること。同一校で2チーム以上参加の場合は、連絡事項を参照のこと。
(2) 申込みと同時に2名以上の役員を推薦する。役員として協力のない学校は、高体連の申し合わせにより出場できない。
(3) 西播地区以外の学校は、オープン参加とする。
(4) 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、大会を中止する場合もある。
(5) 大会開催にあたっての新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる注意事項等については、高体連西播支部陸上競技部HPに掲載するので必ず確認すること。
(6) 個人情報の取扱について
(ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。
(イ) 参加申込書の提出により上記(ア)の取扱に承諾を得たものと見なし、名前・学校名・学年・記録を紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。また、入賞者はインタビューやその他競技場外で取材を受けることがある。
(ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページなどで公開されることがある。
(エ) 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放映されることがある。